

# 盛岡聴覚支援学校

## 研究テーマ

「対話的な学びを通して

『思考力・判断力・表現力』を育む」

(2年次研究1年目)

### 1 全体研究

#### (1) 主題設定の理由

学習指導要領解説の中で、「何を学ぶか、何ができるようになるか、どのように学ぶか、といったことを重視し、生きる力を育むことを目標としている」と述べている。また、生きる力を育むための3本柱として「知識及び技能」「思考力、表現力、判断力等」「学びに向かう力や人間性など」を挙げ、育成の必要性を示している。

学校経営計画の重点から「将来社会で生きるために必要な思考力・判断力・表現力の向上を図ることが重要であり、そのために、幼児児童生徒個々の実態に合わせた音声、手話、文字、指文字を活用した対話、わかりやすい授業を工夫する中で言語力を伸ばすことが有効である」ととらえることができる。また、本校では「関わりの中で、自分と相手の違いを知り、その違いを認め合い心が育つ」と考え、対話を大切にしている。

そこで各生活年齢に合わせて、対話を大切にした人とかかわりを通して、思考力・判断力・表現力を育てる研究を進め、学習活動に生かしていくことが幼児児童生徒にとって生きる力の育成につながると考え、本テーマを設定した。

#### (2) 研究の目的

「聴覚障がいがある」という前提に加え、それぞれの幼児児童生徒が抱える実情に即した形で、必要な授業や支援をおこなっていくための、研究活動に取り組む。

#### (3) 各学部研究(1年次)

##### ①幼稚部

人とかかわりを楽しみ、自分でやってみようとする姿をめざして

##### ②小学部

思考し、表現する力を高めるための授業実践

##### ③中学部

聞こえにくい自分を肯定的に理解(認識)し、自ら考えようとする生徒をめざして～自立活動における体験的・対話的な活動をとおして～

##### ④高等部

生徒の考える力・伝える力を高めるために～主体的なコミュニケーション活動をとおして～

##### ⑤寄宿舎

対話を深め、「思考力・判断力・表現力」について共に考え、必要な力を育む～柔軟に対応できる力を育むための支援～

#### (4) 今年度の実践

##### ①全校研究会

4月：校内研究の方向性の確認

6月：各学部の研究テーマについて

2月：1年次のまとめ

##### ②学部研究会(9回)

各学部でテーマを設定した研究会

##### ③全校授業研究会

9月：中学部重複学級(生活単元学習)

### 2 講演会

演題：「自己形成につながる対話～思考力と関連づけて～」

講師：宮城教育大学教育学部 特別支援教育  
教員養成課程 聴覚・言語障害教育コース  
准教授 松崎 丈 氏

期日：令和2年9月4日(金)

参加者：65名

### 3 研修会

(1) 職員研修会(9月28日)：東北聾研事前発表

(2) 難聴児の切れ目のない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた全国研修会(11月、12月)

### 4 他の教育研究機関との連携

・全日本聾教育研究大会(10月8・9日)

・東北聾教育研究大会(11月6日)